

## よつ葉乳業

よつ葉乳業は、北海道の大地に根ざした酪農生産者らによって、1967年に「北海道協同乳業」として設立された。当時、牛乳・乳製品の製造・販売は大手乳業メーカーに委ねられ、生乳取引価格の決定に際してもメーカー側の意向が大きく影響し、酪農生産者の努力が反映されにくい状況であった。

「よのおいしい牛乳・乳製品を生活者へ届けたい」という想いを実現するためには、酪農経営を安定させ、酪農生産者自らが製品を製造・販売することが必要だった。この想いを一つにした北海道十勝地区の八つの農協が中心となり、乳業会社を設立した。それがよつ葉乳業のはじまりだ。

「よつ葉」の名は、会社設立2年後の69年にブランド名として誕生し、よつ葉牛乳に代表される同社製品とともに全国へ浸透していった。安全で良質な製品を届けることを基本に継続してきた製品づくりは、北海道の牛乳・乳製品のおいしさを全国に伝え、北海道ブランドの普及に貢献している。86年にはブランド名と社名の一体化を図るために、社名を「よつ葉乳業」として新たなスタートを切った。

かつて牛乳といえば「ピン牛乳」で、毎朝各家庭に配達されるのが一般的だった。よつ葉牛乳が誕生した

69年当時は、帯広市内の95%が宅配牛乳で、店頭での販売は大型スーパーでさえ、一日50本以上を販売する店はなかったという。ところが、69年12月にそ

れまでの常識を覆す、よつ葉牛乳の「紙パック」店頭売り」が帯広市内と十勝地区で開始されると、大型スーパーでは1日2000本以上を売り上げる大ヒット商品となった。

その人気の背景には、軽量・ワンウェイの紙パックを採用したことにより、宅配コストや瓶（びん）の回収・洗浄のコストがかからなくなったことによる「安さ」に加え、搾（しば）ったままの成分に手を加えない「成分無調整」牛乳の「おいしさ」があった。おいしさへのこだわりは、現在の「よつ葉牛乳」にも受け継がれている。

「よつ葉3・4牛乳」という商品名には、成分無調整牛乳の証しとして、当時の乳成分「乳脂肪分3・4%以上を保証します」という気持ちが入められている。

よつ葉乳業の原点は、酪農生産者による、酪農生産者のための乳

### 北海道ブランドの一翼担う、安全で良質な牛乳・乳製品づくり

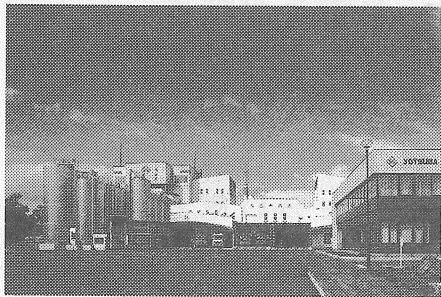
業メーカーとして設立されたことにある。この原点に常に立ち返り、「農系乳業メーカーとしての責任を果たす」「よつ葉ブランドの責任を果たす」——この二つを経営理念に据えたうえで、同社は新たにコーポレートスローガンを策定した。それが、「おいしい幸せを、まいにち」だ。

このスローガンには、よつ葉乳業はいかなるときも安全・安心・高品質なおいしさを生活者にお届けすることを約束します、という自信と決意が込められている。

04年からは「よつ葉製造マンスクール」をスタートし、製造に携わる若手従業員に対して「知識」と「技能」を継承する取り組みを強化している。

北海道ブランドの一翼を担う企業としてよつ葉乳業は、北海道の酪農振興とより良い製品づくりに今日も励んでいる。

◇  
▽所在地 札幌市中央区北4条西1丁目北農ビル▽  
代表者 堀部一郎・代表取締役社長▽資本金 31億円  
▽従業員数 約740人



よつ葉乳業の十勝主管工場